

大田市立病院 障がい者活躍推進計画

実施状況報告書

機 関 名	大田市立病院
任 命 権 者	大田市病院事業管理者
報 告 年 度	令和7年度
目標に対する実績	
(1) 採用に関する目標	<p>【目標】 令和7年6月1日時点 2. 80% (法定雇用率)</p> <p>【実績】 令和7年6月1日時点 実雇用率 3. 23% 目標を達成している。</p>
(2) 定着に関する目標	<p>【目標】 不本意な離職者を極力生じさせない。</p> <p>【実績】 障がいのある職員の不本意な離職は生じていない。</p>
(3) 満足度、ワーク・エンゲージメントに関する目標	<p>【目標】 アンケートにおける職員の満足度が、8割を超えることを目指す。</p> <p>【実績】 アンケート結果：満足およびやや満足85. 7% 目標を達成している。</p>
(4) キャリア形成に関する目標	<p>【目標】 障がい特性や職業上の適正を把握し、新たな職域を開拓する。</p> <p>【実績】 障がいのある職員の業務について、面談を行い必要に応じて業務内容の見直しや開拓を行った。</p>
障がい者の活躍推進に向けた取組	
1. 推進体制の整備	
	<p>障害者雇用推進者として総務課長を選任し、労働局が開催する公務部門向け障害者職業生活相談員資格認定講習を受講した障害者職業生活相談員を配置している。</p>
2. 職務の選定・マッチング	
	<p>組織内アンケートを実施し、職務の選定および創出について検討を行った。所属長は定期的に面談を行い、障がい者と業務の適切</p>

	なマッチングができていないかの点検を行っている。
3. 職場環境の整備	
	障がい者からの要望を踏まえ、必要に応じて支援機関に相談をし、継続的に必要な措置（作業しやすい場所の提供等）を講じた。
4. 職員の採用・育成等	
(1) 募集・採用	<p>障害者就労支援施設の利用者について職場実習の受け入れを行った。募集・採用に当たっては、以下の取扱いを行わないよう徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の障がいを排除し、または特定の障がいに限定する。 ・ 自力で通勤できることといった条件を設定する。 ・ 介助者なしで業務遂行が可能といった条件を設定する。 ・ 「就労支援機関に所属・登録しており、雇用期間中支援が受けられること」といった条件を設定する。 ・ 特定の就労支援機関からのみの受け入れを実施する。
(2) 多様で柔軟な働き方	年次有給休暇等の取得状況を把握し、取得の促進について所属長に協力依頼を行っている。
(3) キャリア育成	他の職員と同様に教育訓練の機会を提供している。
(4) その他の人事管理	所属長による面談等を通じて、障がい者一人ひとりの障がい特性や能力、希望等を把握するとともに業務との適切なマッチングを図っている。支援機関と連携し、必要な配慮（業務内容の見直し等）を行っている。
4. 優先調達等	
	<p>国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づき、物品等の購入について障害者就労施設等への発注等を検討したが、実績はなかった。</p> <p>民間事業者における障がい者の活躍を促進するため、法定雇用率以上の対象障がい者を雇用していることを一部（清掃業務）の公共調達の競争参加資格に含めている。</p>